

marina park city

## 西宮浜

マリナコミュニティ



## コミュニティ協会賞に西宮浜地域から2人表彰

西宮コミュニティ協会が主催するコミュニティ推進大会が、2月9日に西宮市立勤労会館ホールで開催されました。地域活動をテーマにした講演会の前に、コミュニティ協会賞の表彰式がありました。地域活動に長年取り組んでいる人に贈られ、本年度は西宮浜地域から山野下(やまのした)みや子さん、二川(ふたがわ)俊秀さんが表彰されました。

## 山野下 みや子さん (浜辺のまち)



木村第一会長より  
賞状もらう山野下さん(左)



打ち合わせ中

山野下さんは、西宮浜地区社会福祉協議会のふれあい給食会のボランティアをはじめ、西宮浜公民館地域学習推進員、西宮浜地区青少年愛護協議会、補導委員、学校緑化ボランティアなど、多方面で活躍し、特に地域の子もたちの健全育成に尽力しました。

得意の手芸を生かした公民館での工作は好評で、昨年のかわいいビーズのクリスマスアクセサリーは、大人気でした。また、季節感あふれるふれあい給食会の食事を楽しみにしている高齢の人がたくさんいます。今後も、さまざまな特技ととびきりの笑顔で西宮浜を盛り上げてください。

## 二川 俊秀さん (桜のまち)



勤労会館での受賞式にて



防犯講演会であいさつをする二川さん

老人会の役員、マンション管理組合の理事を皮切りに、70歳を過ぎてから地域活動に活躍の幅を広げました。西宮浜マリナコミュニティ発足から編集員として記事の作成などで活躍。地域のコミュニティー推進になくてはならない人になっています。

令和3年から、桜のまち悠遊クラブの会長として、さまざまな行事を企画し、メンバーの皆さんと楽しく過ごしています。令和4年からは、西宮マリナパークシティ協議会防犯部会の部会長として西宮浜の安全を支えています。学校運営協議会の委員としても、学校や他の団体と連携しながら、西宮浜の住民が明るく楽しい毎日を送れるように尽力しています。

## はまCaféマリナふらっとからのお知らせ

はまCaféマリナふらっとを手伝えるボランティアを募集しています。

- ・活動内容: 来場者とのおしゃべり、飲み物などの提供、開店前準備、閉店後片付けなど
- ・活動時間: 月・水・木・土(週4日)9時半~16時半(営業時間10時~16時)
- ・活動場所: はまCaféマリナふらっと(花のまちマリナヴィラ1階 西側店舗)
- ・その他: 「くもん脳健康教室ふらっと」「いきいき体操ふらっと」でもボランティアサポーターを募集中。興味のある人は、はまCaféマリナふらっとの店舗までお越しください。



運営団体: はまカフェマリナ運営委員会 携帯:080-3801-3004 代表 木村まで

# 祝成人！令和7年「西宮市二十歳のつどい」 ～西宮浜中学校卒業生～

大人びた姿に時の流れを感じながらも、絆はあの頃のままでした。1月13日、小・中連体の懐かしき場所“阪神甲子園球場”で、「令和7年西宮市二十歳のつどい」が開催されました！ 久しぶりに再会した仲間や先生と思い出話を交わしながら、互いに励みとなる言葉を交わしたこの日は、皆さんの心に残るでしょう。晴れ空の下、気品あるスーツと華やかな振り袖に身を包んだ新成人の取材をしました。



式典前に西宮浜で  
華やかな振り袖姿を撮影



小連体、中連体、そして二十歳の  
つどい@甲子園は、宮っ子の特典！

西宮浜での思い出は？

- ・自然学校・修学旅行 50%
- ・マリナフェスティバル 29%
- ・小・中学校連合体育大会 12%
- ・マリナコンサート 8%

どういう大人になりたい？

自分、家族、友人を幸せにできる人／どんな些細な<sup>さいさい</sup>ことにも感謝を忘れず、小さな幸せを重ねられる人／親しみやすそうな人／当たり前のできる人／頼れる大人／いつまでの好奇心を忘れない人／温かくて優しい大人

女子トークに花が咲き、  
謝恩会もあつという間



恩師6人を囲んで芦屋・竹園で  
謝恩会を開催しました



代表者2人からの  
メッセージ



川邊 寿理彩

新春の青空に恵まれ、成人式を迎えられたことを心よりうれしく思います。そして、20年間、私を育ててくれた家族に感謝の気持ちを込めて、「ありがとう」と伝えたいです。

現在、私はアメリカで大学生活を送っており、式典への参加を見送る形になりましたが、海を越えた所からも、小中学校時代の仲間と共に二十歳の節目を祝うことができ、懐かしさに心が温かくなりました。またいつか、皆さんと再会できる日を楽しみにしています。

今日までの20年を振り返る中で、私は10年前の「二分の一人式」で発表した自身の主張を読み返しました。その文章には、10歳の私が抱いていた思いや決意が、驚くほど

純粹に表現されており、大人になった今、「自身の気持ちに正直に生きることの大切さ」を幼少期の自分から学ぶことができました。これからも成長を続ける中で、原点に立つ自分に背中を押される日が来るでしょう。

また、10歳の私は、「世界に貢献する」という夢を抱いていました。10年後の今、シカゴ大学で社会学、経済学、公共政策学の研究に取り組んでおり、その夢を志へと昇華させることができました。さらに10年、20年後に振り返ったとき、大きな成長を遂げたと自信を持っていえるよう、精進してまいります。

これからも人との出会いを大切にし、家族や関わる人々への感謝を胸に、人生を歩んでいきたいです。



世界中からシカゴ大学に集う友人と写真撮影



森山 拓海

まず初めに、二十歳を迎えるにあたり、友人や先生方、そして何よりも一番近くで支えてくれた家族に心から感謝しています。

長い時間を当たり前のよう共に過ごしてきた仲間とも、進む道が変わるにつれて顔を合わす機会が減ってしまい、その変化に寂しく感じることもありました。成人の日久しぶりに再会し、それぞれの道を歩んできた仲間と会話を交わす中で、懐かしさとともに、互いの成長を感じることができました。この貴重な時間を通して、共に過ごした日々が決して過去のものではなく、今の自分たちを形づくる大切な時間だったのだと改めて実感しました。

私は今、夢に向かって歩んでいます。それは、人の役に立つロボットを作ることです。今まで支えてくれた方たちにも恩返しができるよう、

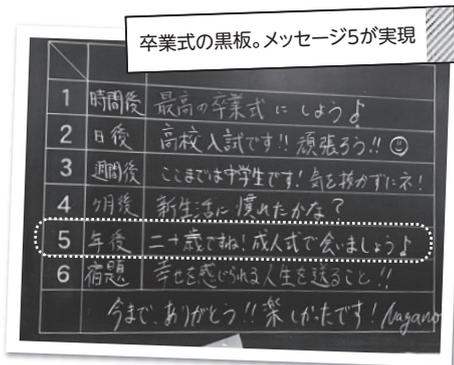
自分の力を少しずつでも形にしていきたいと思っています。

今回は懐かしの生徒会メンバーと共に、中学生当時のように会議を行い、楽しく進められました。私にとって記念の1ページになりました。ありがとうございました！

これからの人生、どんな困難が待っているかわかりませんが、感謝の心を忘れず、新たな出会いを大切にしながら、よりよい未来に向かって歩んでいきたいです。



水中ロボットの調整中



卒業式の黒板。メッセージ5が実現

久しぶりでも会えば  
すぐにあの頃に戻れる



お互いのスーツ姿も新鮮!



編集後記

当日は「宮っ子」編集員として、100歳を迎えた甲子園で、市内から集まった20歳の若人たちと三本締めで、その巣立ちを祝うことができませんでした。

共に育ち学んだ西宮浜を、改めて大切に思えた日だったと思います。

(取材・編集…川邊、森山)  
(レイアウト…木戸)

